

平成 27 年 10 月 2 日  
総務省福島行政評価事務所

## 県内の 2 人の行政相談委員が総務大臣表彰を受賞

た なか ひろ こ  
田 中 洋 子 さん (伊達市担当)  
かね こ はる み  
金 子 晴 美 さん (広野町担当)

### 1 行政相談委員の総務大臣表彰について

行政相談委員として永年その職にあり、その業績が特に顕著で他の模範とするに足りると認められる上記 2 人の方が、総務大臣表彰を受賞することとなりました（受賞委員のプロフィール等は別紙参照）。

### 2 表彰式日時等

【平成 27 年度行政相談委員総務大臣表彰式】

- ・日 時：平成 27 年 10 月 7 日（水）午前 10 時 10 分～
- ・場 所：京王プラザホテル コンコードボールルーム（本館 5 階）  
（東京都新宿区西新宿 2-2-1）

### 3 行政相談委員とは

行政相談委員法（昭和 41 年法律第 99 号）に基づき、総務大臣が委嘱する民間ボランティア（任期 2 年）。無報酬で国民から国の仕事に関する苦情などの相談を受け付け、助言や関係機関への通知を行う。各市町村に最低 1 人以上配置することとされており、平成 27 年 10 月現在、全国で約 5,000 人、福島県内で 115 人が配置されている。



行政相談シンボルマーク

平成 27 年度行政相談週間スローガン “届けよう 地域の問題 行政に”

問い合わせ先 総務省福島行政評価事務所  
行政相談課長 熊谷 文彦  
電 話：024-534-1101

(別紙)

## 受賞委員のプロフィール等

(敬称略)

氏名 (性別・年齢)	たなか ひろこ <b>田中 洋子</b> (女性・74歳)	
委嘱期間	伊達市 平成5年4月1日～現在(通算委嘱期間22年6か月)	
主な活動内容	<p>平成5年に委嘱されて以来、22年以上の長期に渡り、行政への苦情だけでなく、家庭内や近隣間のトラブルなどにも幅広く相談に応じし、懇切丁寧な対応を行っている。</p> <p>平成20年度以降、地元の小学校6年生を対象として行政相談出前授業を継続して実施するなど、若い世代への普及・啓発活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>平成23年から福島行政相談委員協議会理事(注)</p> <p>(相談事例)</p> <p>出前教室に参加した小学生から「通学路に歩道がなく危険なので、側溝にフタをして歩けるようにしてほしい。」という提案(相談)が寄せられ、委員の働きかけで実際にフタを取り付けることができた。</p> <p>単に行政苦情を解決しただけでなく、提案した小学生達の行政(町造り)への参加意識が高まることにもつながった。</p>	
(性別・年齢)	かねこ はるみ <b>金子 晴美</b> (女性・62歳)	
委嘱期間	広野町 平成11年4月1日～現在(通算委嘱期間16年6か月)	
主な活動内容	<p>平成11年4月に委嘱されて以来、16年以上の長きにわたって地域住民の身近な相談相手として活動。</p> <p>東日本大震災で自らも被災し、一時避難生活を余儀なくされながらも、地域住民のため行政相談活動を実施。仮設住宅内に、ボランティアで、週2回、喫茶店(通称「晴美サロン」)を開設、仮設住宅の住民に心に寄り添うとともに、行政相談委員として行政に対する要望を聞き取る場を作った。</p> <p>(相談事例)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「晴美サロン」を通して把握した住民の要望を関係機関に連絡し、仮設住宅周辺への街灯の増設、敷地内通路の舗装など、仮設住宅の環境整備に顕著な成果をあげた。</li><li>・震災で心に傷を負った子供達のために生け花教室を開催したいとするボランティアからの相談を受け、町教育委員会と連絡調整を行った結果、地元の小学校の父兄参観を兼ねた家庭科の授業において、ボランティアによる生け花教室が開催される運びとなり、双方から大変感謝された。</li></ul>	

注 福島行政相談委員協議会とは、福島県内の行政相談委員で構成された自主組織であり、自主的な研修会や親睦活動等を行うことにより、行政相談に対する知識を深めるとともに行政相談委員相互の連携を深めている。